

教科名	公民	科目名	倫理		
開講年次	5年	履修区分	自由選択	単位数	2
使用教科書	『倫理』（東京書籍）				
その他教材	『最新倫理資料集』（第一学習社）「win-step 倫理」（ランズ）				

科目のねらい

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいてグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

評価規準

A	知識・技能	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有能な情報を適切に選択し、効果的に活用している。【A4 1枚 思想家の「人と思想」まとめプリント等 ★よい「まとめ」とは？】
B	思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。【プレゼンテーション等 ★よい「プレゼン」とは？】
C	主体的に学習に取り組む態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。【各種 ふりかえり ★よい「ふりかえり」とは？】

年間計画

期	学習内容	学習内容やねらい	課題と評価観点
前期	青年期の課題と自己形成	青年期の課題や認知心理学の知見に関する諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	振り返り【C】
	先哲の思想（ギリシア・キリスト教） 西洋近現代思想	西洋の先哲の思想、そして西洋近現代の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	スライド・レポート【A】 プレゼン【B】 振り返り【C】
後期	先哲の思想（インド・中国） 日本の思想	東洋や日本の先哲や近現代の思想に関する原典などの諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	スライド【A】 プレゼン【B】 振り返り【C】
	現代の諸課題と倫理	自然や科学技術、社会と文化にかかわる諸課題について、人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、探究する活動を通して、自分の考えを説明、論述する。	レポート【A】 振り返り【C】

教科名	政治・経済	科目名	社会科 公民		
開講年次	5	履修区分	選択履修	単位数	2
使用教科書	最新 政治・経済 改訂版（実教出版）				
その他教材	最新図説政経（浜島書店）、進研 WINSTEP 政治・経済 改訂版、ベストセレクション 2024 大学入学共通テスト「政治経済」重要問題集				

科目のねらい

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

評価規準

A	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
B	思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
C	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

年間計画

期	学習内容	学習内容やねらい	課題と評価観点
前期	第2編 現代の経済(1) 1章 現代の経済社会 2章 現在の日本経済と福祉の向上 3章 現代の国際経済	現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させる。	<レポート> 【A】・【B】・【C】 円ドルダービー
	第1編 現代の政治 3章 日本の政治制度と政治参加 4章 現代の国際政治 5章 日本の平和主義と国際平和	現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し、養護するすることの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。	<テスト> 【A】 <レポート> 【B】・【C】 平和へのスピーチ
後期	1章 現代国家と民主政治 2章 日本国憲法と基本的人権		
	第2編 現代の経済(2) 1章 現代の経済社会 2章 現代の日本経済と福祉の向上 3章 現代の国際経済 第3編 現代社会の諸課題	現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。	<テスト> 【A】 <レポート> 【B】・【C】 幸福度の指標作り

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
公民	6 年次	倫理	2 単位	倫理（実教出版）

科目のねらい

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいてグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。【各種 ふりかえり ★よい「ふりかえり」とは？】
B	思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。【プレゼンテーション等 ★よい「プレゼン」とは？】
C	資料の活用	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有能な情報を適切に選択し、効果的に活用している。【A4 1枚 思想家の「人と思想」まとめプリント等 ★よい「まとめ」とは？】
D	知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。【win-step 問題集】

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	青年期の課題と自己形成	青年期の課題や認知心理学の知見に関する諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。【ABCD】
	先哲の思想（ギリシア・キリスト教） 西洋近現代思想	西洋の先哲の思想、そして西洋近現代の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。【ABCD】
	先哲の思想（インド・中国） 日本 の思想	東洋や日本の先哲や近現代の思想に関する原典などの諸資料を理解することを通して、広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。【ABCD】
後期	現代の諸課題と倫理	自然や科学技術、社会と文化にかかわる諸課題について、人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、探究する活動を通して、自分の考えを説明、論述する。【ABCD】